

名人忌辰錄(抄)

關根只誠編

西澤一風

通稱正本屋九右衛門大阪心齋橋南四丁目に住す書林板元戲傳を好み豊竹座の戯曲作者となり享保十六亥年五月廿四日歿す歳六十七

豊竹若太夫 梁塵軒

豊竹派の祖竹本義太夫に學び始め竹本采女太夫後豊竹若太夫と改む享保十六年九月受領して豊竹越前少掾重恭と云ふ明和元申年九月十三日歿す歳八十四大阪中寺町本經寺に葬る

近松半二

本姓鶴積氏千前軒門人戯曲の作多し剃髮して半二坊天明二寅年二月某日山科にて歿す歳五十八

近松門左衛門 信盛

本姓杉森氏幼名平馬號菓林子長州萩の人肥前唐津近松寺に遊學す後京師に上り近松門左衛門と名乗り淨瑠璃作者と成る享保十九寅年十一月廿一日歿す歳七十二大阪寺町法妙寺に葬る

吉田陸奥大掾 冠壽

始吉田東九郎後三代目吉田冠二木偶師なり明治五年正月五日歿す歳六十二

吉田冠二 (元祖)

人形遣ひの名人天明五巳年十一月十二日大坂に歿す歳六十二

吉田冠二 (二世)

始め桐竹紋三郎享和二年戊五月十五日歿す歳五十七

吉田文吾 文操齋

始め吉田國五郎人形遣ひの名人なり文政十亥年八月廿五日歿す年五十五淺草妙經寺に葬る

辰松八郎兵衛 (初代)

元藤井伊十郎人形遣にて名高し寛延三年年十一月廿四日歿す歳六十六

辰松八郎兵衛 (二代)

備振 文化九申年五月九日歿す歳六十七

竹田出雲 千前軒

竹田近江の子名清定寶曆六子年十月廿一日歿す歳六十六

竹田近江 清直

阿波の人万治元年十二月朔日出雲と受領す寛文二年春大坂にてから

くり芝居興行し享保十二酉年閏九月十九日歿す歳八十一(霸窓漫筆卷の二)初代竹田近江阿波の人通稱次郎兵衛享保十一年五月五日近江と改同十四年閏九月十九日死八十一歳○悴近江三四郎享保十九年十一月近江と受領す寛保二年戊九月二日二代近江清英死○弟近江平助と云寛保三年四月京都にて受領す云々)

竹本播磨少掾 喜教

稱中紅屋長四郎始め若竹政太夫後二代目義太夫元文二年播

磨少掾と改む延享元子年七月廿五日歿す歳五十四大坂天王寺領國恩寺に葬る

竹本政太夫 (二世)

大坂ごこばに生る稱十兵衛ざこば政太夫是なり明和二酉年七月十日歿す歳五十六

竹本政太夫 (三世)

二代目政太夫門人通稱藤本利兵衛文化八末年七月十四日歿す歳

五十九淺草阿部川町密藏院に葬る

竹本越太夫 爲聲

大坂の人元祖越太夫門人初名要太夫天明四年江戸に下り世に愛

せられ富徳の身と成り居付地主となれり文政元年八月三日歿す歳五十七本所柳島法性寺に葬る法號本立院善開日壽辭世難波より大江戸に下りて早三十五年の今門葉の繁る事ありがたく何か思ひ残さん「御當地の恵にふしもかれにけり扇柏子のうち納めかな」

竹本義太夫 博教

俗稱五郎兵衛元祿十四年五月竹本筑後少掾と受領す正徳四年年

九月十日歿す歳六十四大坂天王寺地中超願寺に葬る  
竹本宮戸太夫 天保八四年五月廿七日歿す

竹本住太夫 (初代) 文雅

通稱田中文藏文化七年年三月十八日歿す歳五十二

西本願寺地中妙延寺に葬る

鶴澤市太郎

始鶴澤咲治義太夫節三線師蟻鳳門人慶應元年丑九月四日歿す

鶴澤勇造

元祖鶴澤清七門人万延元年申年十一月廿八日歿す歳七十一東本願寺に葬る

鶴澤友次郎

始の名三千藏延寶二巳年七月廿四日歿す歳五十一(初代名人)

鶴澤文藏 (二世)

始め仙藏中興の名人天保五年年九月廿三日歿す年五十四大坂下寺町遊行寺に葬る

鶴澤文藏 (三世)

初文教二代目文藏子明治十九年八月廿三日歿す本所小梅常泉寺葬る

鶴澤文三 文系

二世文藏門人始忠次郎安政六未年七月十日歿す歳五十三淺草黒舟町正覺寺に葬る

鶴澤才治 糸遊

五代目竹本政太夫の子始め清次郎鶴澤寛治門人安政五年午八月十日歿す歳四十三東本願寺地中に葬る名人なりし

鶴澤蟻鳳

通稱大坂屋小三郎晩年三代目竹本播磨太夫と改む安政元年寅十月十日歿す歳八十四谷中佛心寺に葬る

並河宗輔 市中庵

通稱松屋宗助後號を舍柳と改む寛延三年巳九月七日歿す歳五十七(始田中千柳と云元祖一風門人竹本座の作者と成り並木と改む)

並木正三 平陰

俗稱高砂屋平左衛門元菓子商並木宗輔門人安永二年巳二月十七日歿す歳五十二大坂法善寺に葬る法號常譽達雪

宇治加賀掾 好澄

姓徳田氏伊勢宮内門弟始加賀太夫元祿十年唱歌を集めたるを紫竹集と

云此年六十三になりければ七九集と云を紫竹集の文字に改めしなり寶永八卯年正月廿一日歿す歳七十八京二條川東順妙寺に葬る

野澤語助 語息齋

前名野澤辰次郎義太夫節三線引の名人明治元年三月廿三日歿す歳七十八